安寿（あんじゅ）

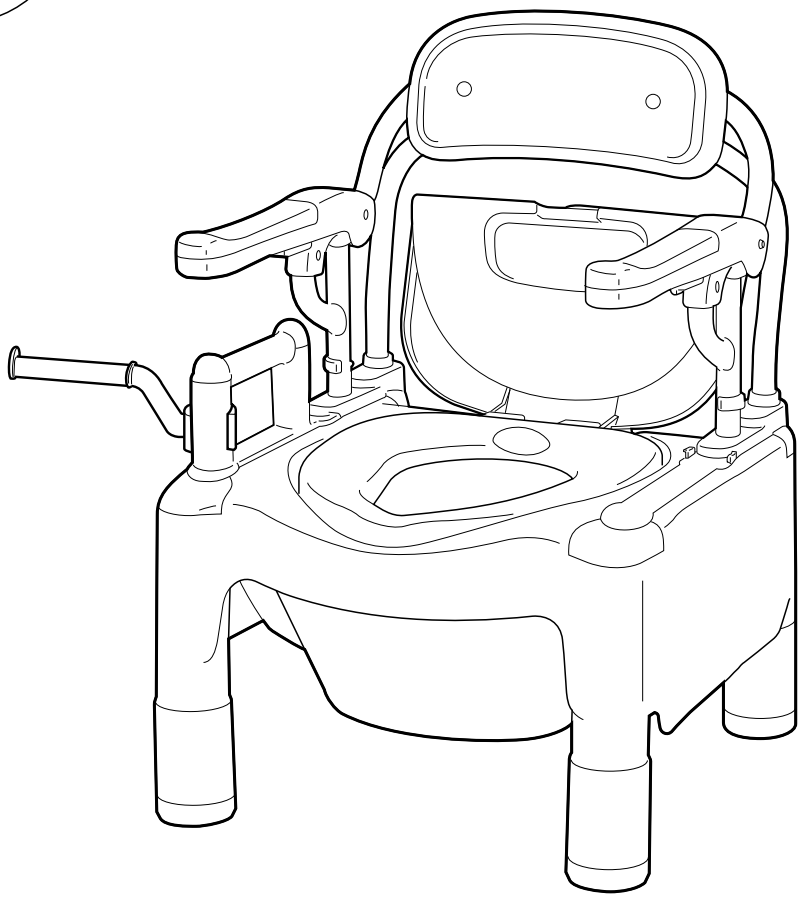
ポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”標準便座
ポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”ソフト便座
ポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”暖房便座
ポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”快適脱臭
ポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”暖房・快適脱臭

共通取扱説明書

このたびはポータブルトイレFX-CPはねあげ“はねあげちびくまくん”をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

最大使用者体重
100kg



ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

共通

必ずお読みください

はじめに 2
■製品の種類／タイプ（オプション）

各部のなまえ 3・4
■共通（本体）のなまえ

安全上のご注意 5~9
■組み立て時のご注意
■使用前のご注意
■使用中のご注意
■お手入れ上のご注意

組み立てかた・使いかた

組み立てかた 10~13
■各部の高さ設定の目安
1便座高さ（脚の高さ）を調節する
2ひじ掛けの高さを調節する
3アシストグリップを固定する
4ペーパーホルダーを取り付ける

使いかた 14~16
1ご使用の前に
2汚物の処理方法
3ひじ掛けをはね上げて使用する

お手入れの方法 17
1いつものお手入れ
2便座・上蓋のお手入れ

ソフト便座

必ずお読みください

各部のなまえ 18
■各部のなまえ／仕様

お手入れの方法 18

暖房便座

必ずお読みください

各部のなまえ 19
■各部のなまえ／仕様

安全上のご注意 20・21
■使用上のご注意

組み立てかた・使いかた

組み立てかた・使いかた 21・22
1暖房便座のスイッチボックスを本体に固定する
2温度調節の方法

お手入れの方法 22

快適脱臭

必ずお読みください

各部のなまえ 23
■各部のなまえ／仕様

安全上のご注意 24・25
■使用上のご注意

組み立てかた・使いかた

組み立てかた・使いかた 25・26
1脱臭器を取り付ける
2センサーの感知

お手入れの方法 27

トランスファーボード

必ずお読みください

各部のなまえ 28
■各部のなまえ／仕様

安全上のご注意 28・29
■使用前のご注意
■使用中のご注意

組み立てかた・使いかた

組み立てかた・使いかた 30

キャスター

必ずお読みください

各部のなまえ 31
■各部のなまえ／仕様

安全上のご注意 31
■使用上のご注意

組み立てかた・使いかた

組み立てかた・使いかた 32
1キャスターを取り付ける
2移動のしかた

共通

困ったとき

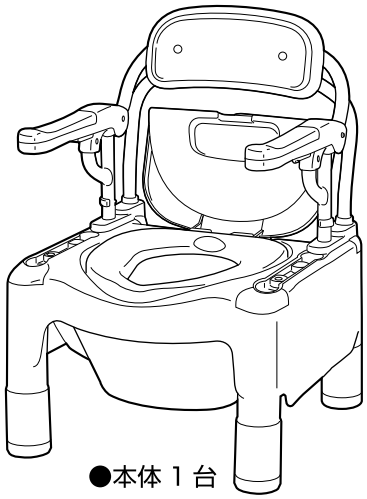
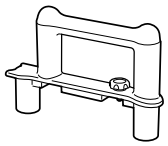
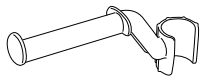
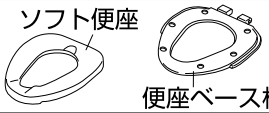
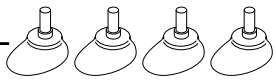
交換部品（消耗品） 33

故障かな？と思ったら 33・34

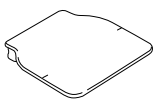
はじめに

ご購入いただきました製品によって、同梱品、および確認していただくページが異なります。組み立て前に下表を参照し、それぞれの同梱品をご確認ください。

■製品の種類

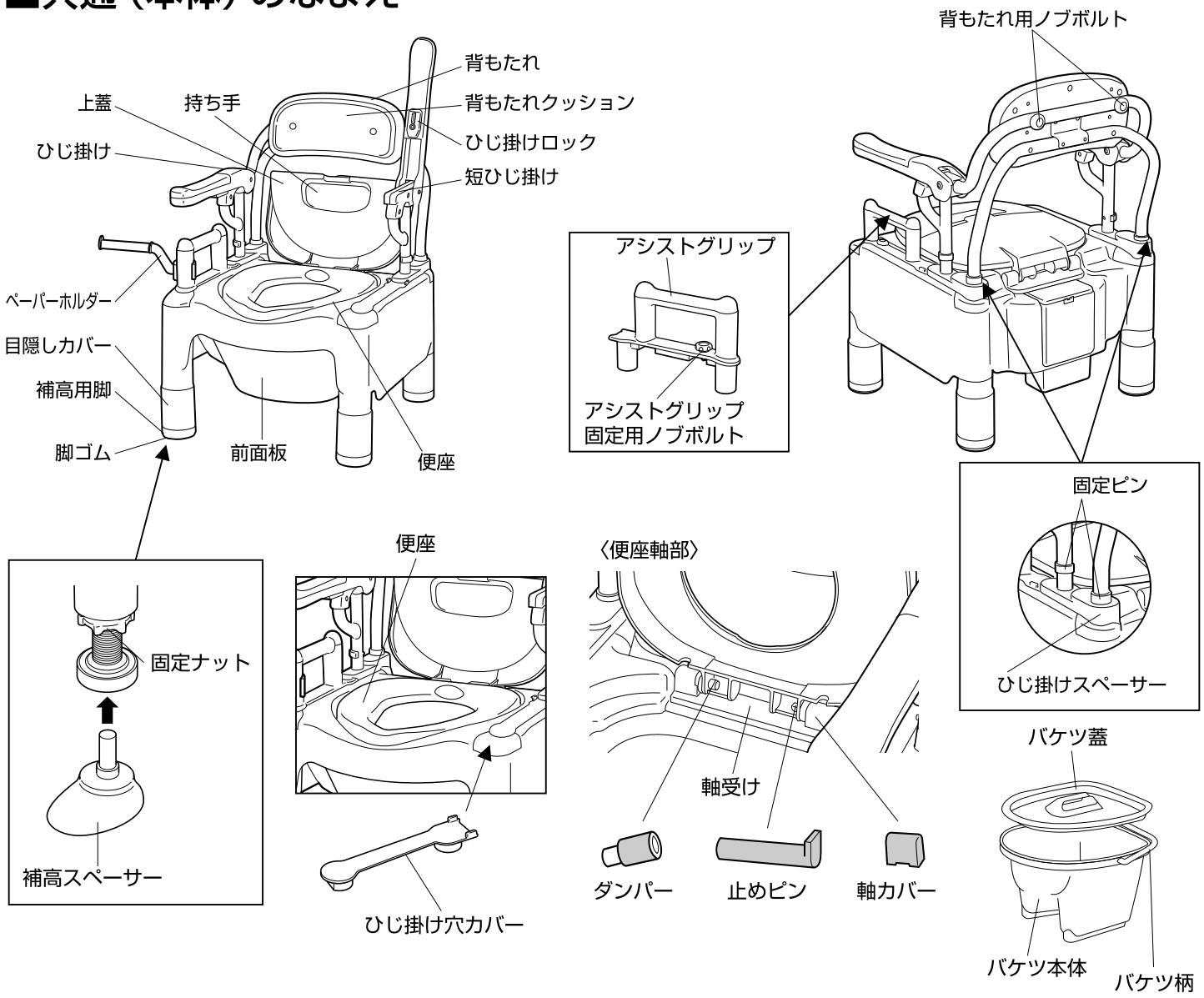
	同梱品	製品の種類				
		標準便座	ソフト便座	暖房便座	快適脱臭	暖房・快適脱臭
共通部品	 ●本体 1 台  ●アシストグリップ 1 個 ●ひじ掛け穴カバー 1 個  ●ペーパーホルダー 1 個 ●取扱説明書 ●防臭消耗品	●	●	●	●	●
製品の種類別の部品	標準便座 （本体に組みつけられています） 	●	—	—	—	—
	ソフト便座 （本体に組みつけられています）  説明ページ P.18	—	●	—	●	—
	暖房便座 （本体に組みつけられています） 説明ページ P.19 ～ 22	—	—	●	—	●
	快適脱臭 （本体に組みつけられています） 説明ページ P.23 ～ 27	—	—	—	●	●
	補高スペーサー  説明ページ P.12	●	●	●	●	●
	O型便座カバー	●	—	—	—	—

■タイプ（オプション）

	ノーマルタイプ	トランスファータイプ	キャスター付	トランスファータイプキャスター付
トランスファーボード  説明ページ P.28 ～ 30	—	●	—	●
キャスター 説明ページ P.31・32	—	—	●	●

各部のなまえ

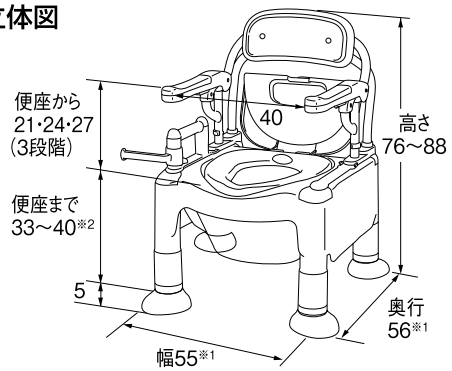
■共通（本体）のなまえ



■商品寸法図（単位cm）

商品寸法図

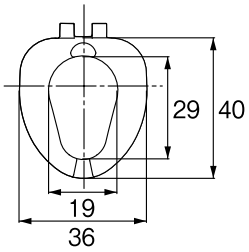
立体図



※1 幅と奥行は補高スペーサー部分を含んでいません。
※2 キャスター付の便座の高さは35〜42cm。

便座寸法図

〈標準便座〉



※ソフト便座の寸法はP.18を参照してください。
※暖房便座の寸法はP.19を参照してください。

各部のなまえ

■仕様

<table>
<tr><td rowspan="7">材質</td><td colspan="2">本体・上蓋・バケツ・ひじ掛け・アシストグリップ・
ペーパーホルダー・補高用脚・補高スペーサー</td><td>ポリプロピレン</td></tr>
<tr><td colspan="2">背もたれ</td><td>ポリエチレン</td></tr>
<tr><td colspan="2">ひじ掛けパイプ・背もたれパイプ</td><td>スチール（カチオン電着＋塗装）</td></tr>
<tr><td colspan="2">背もたれクッション
ひじ掛けクッション</td><td>EVA樹脂</td></tr>
<tr><td colspan="2">脚ゴム</td><td>エラストマー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">便座</td><td>標準／暖房便座</td><td>ポリプロピレン（抗菌加工）</td></tr>
<tr><td>ソフト便座</td><td>ソフト便座：EVA樹脂（抗菌加工）
便座ベース板：ポリプロピレン</td></tr>
<tr><td>バケツ容量</td><td colspan="3">10ℓ</td></tr>
<tr><td>重量</td><td colspan="3">
<table>
<tr><td>単位：kg</td><td>ノーマル</td><td>トランスファータイプ</td><td>キャスター付</td><td>トランスファータイプ
キャスター付</td></tr>
<tr><td>標準便座</td><td>約14.0</td><td>約14.7</td><td>約14.5</td><td>約15.2</td></tr>
<tr><td>ソフト便座</td><td>約14.0</td><td>約14.7</td><td>約14.5</td><td>約15.2</td></tr>
<tr><td>暖房便座</td><td>約15.0</td><td>約15.7</td><td>約15.5</td><td>約16.2</td></tr>
<tr><td>快適脱臭※ソフト便座</td><td>約14.7</td><td>約15.4</td><td>約15.2</td><td>約15.9</td></tr>
<tr><td>暖房・快適脱臭</td><td>約15.7</td><td>約16.4</td><td>約16.2</td><td>約16.9</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>商品サイズ</td><td colspan="3">幅55×奥行56×高さ76～88cm</td></tr>
</table>

廃棄上のご注意 おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

この製品は、室内で使用する為の「ポータブルトイレ」です。
それ以外の目的での使用はおやめください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「障害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。

❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

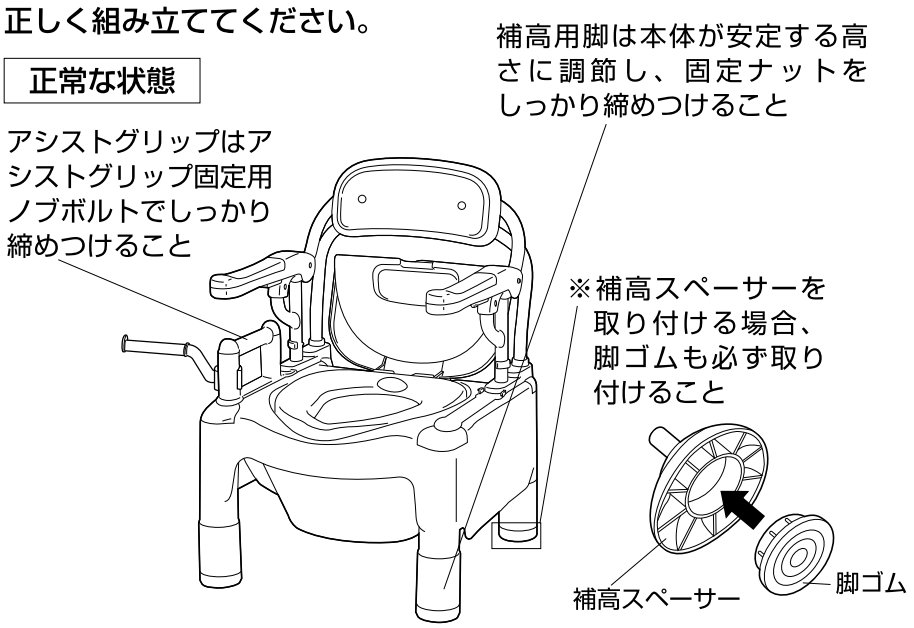
🚫 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

組み立て時のご注意

❗ 必ず実行すること

正しく組み立ててください。

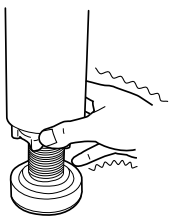
正常な状態



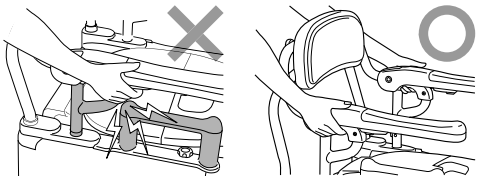
🚫 絶対にしないこと

⚠ 注意

固定ナットは、必要以上に力強く締めつけないこと
固定ナットが破損し、補高用脚を固定できなくなる恐れがあります。
※締めつけの目安
補高用脚が軽い力で動かないところまで固定ナットを締めつけてください。



ひじ掛けの高さ調節時に、ひじ掛けとアシストグリップの間に手指を入れないこと
手指がはさみ込まれ、**けがの原因になります。**



工具を使って組み立て、調節をしないこと
製品の破損の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

使用前のご注意

必ず実行すること

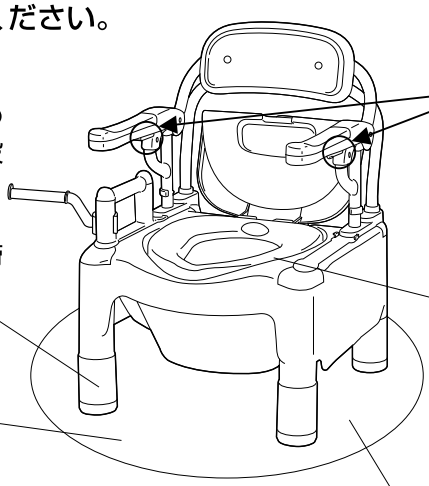
正常な状態で使用してください。

正常な状態

補高用脚は本体がガタつかず、安定する高さに設定されていること

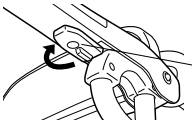
固定ナットがしっかり締めつけられていること

近くに火気がないこと

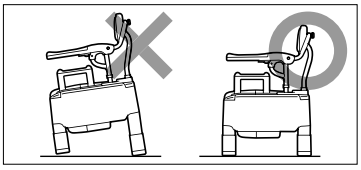


ひじ掛けをはね上げて使用しない場合

ひじ掛けがはね上がらないようひじ掛けロックで固定されていること



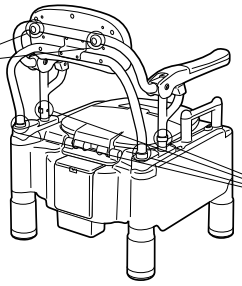
便座面が水平になっていること



背もたれは背もたれ用ノブボルトでしっかり締めつけられていること

平坦で直射日光に当たらない室内に置かれていること

ひじ掛け・背もたれは固定ピンでしっかり固定されていること



※フィッティング（高さの設定など）は、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

絶対にしないこと

⚠ 警告

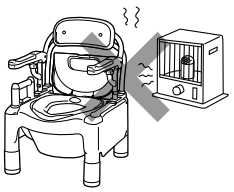
不安定な場所や、近くに火気がある場所には設置しないこと

・ストーブ等火気が近くにある場所　・直射日光の当たる場所

・床が平坦でなく不安定な場所

不安定な場所や近くに火気がある場所に設置すると、

火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒し**けがの原因になります。**



正常でない状態では使用しないこと

・両方のひじ掛けや背もたれを取り外している状態

・各部の固定ピンやノブボルトがゆるんだり外れている状態

・補高用脚の固定ナットがゆるんでいる状態

・ひじ掛けがひじ掛けロックで固定されていない状態（ひじ掛けをはね上げて使用しない場合）

・便座を傾斜させている状態　・脚ゴムをはめていない状態

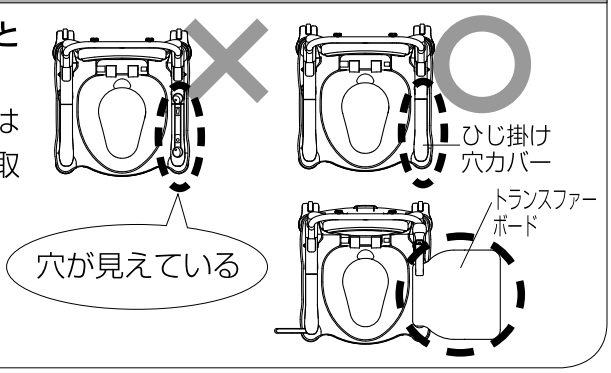
など、正常でない状態で使用すると、**けがの原因になります。**

⚠ 注意

ひじ掛け下の本体の穴が見えている状態で使用しないこと

お尻や手指が穴に入り込み、**けがの原因になります。**

本体の穴部にアシストグリップやひじ掛け穴カバーまたはトランスファーボード（トランスファータイプのみ）を取り付けてください。



安全上のご注意 必ずお守りください

使用中のご注意

必ず実行すること

安全な使いかたをしてください。

安全な使いかた

使用者が自分自身の身体を十分に安定させられないときは、介助者が付き添うこと

使用者体重は100kg以下です

⚠ 警告

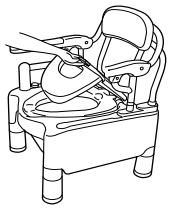
ベッドの介助バーをつかんで移乗する場合は、介助バーを固定してから移乗すること
介助バーを固定していないと、介助バーが動き出し**転倒やけがの原因になります。**

車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること
ブレーキをかけていないと、車いすが動き出し、**転倒やけがの原因になります。**

本体を体に十分に近づけてから座ること
本体が離れていると浅座りになり、**転倒やけがの原因になります。**

⚠ 注意

上蓋の開閉は必ず持ち手部を持って行うこと
別の部分を持って行うと**指をはさむ原因になります。**



絶対にしないこと

⚠ 警告

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損し、**転倒やけがの原因になります。**

ポータブルトイレを手すりがわりにしないこと
•背もたれを手すりがわりにする
•ペーパーホルダーを手すりがわりにする
•折りたたんだ状態の上蓋を手すりがわりにする
などを行うと、製品が破損したりバランスを崩したりし、**転倒やけがの原因になります。**

上蓋や、ひじ掛けの上に立ったり座ったりしないこと
製品が破損したりバランスを崩したりし、**転倒やけがの原因になります。**

安全上のご注意 必ずお守りください

使用中のご注意

絶対にしないこと

⚠ 警告

立ち座り時にひじ掛けに過度な横方向の力を加えないこと
製品が破損したりバランスを崩したりし、**転倒やけがの原因になります。**

介助者がいない場合、自分自身の体を十分に安定させられないときは使用しないこと
転倒やけがの原因になります。

⚠ 注意

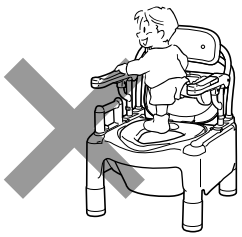
本体を移動させるときは、人や物をのせたまま移動させないこと
・人を座らせたまま移動させる、物をのせたまま移動する
・バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる
などを行うと、**けが、故障、服や床をよごす原因になります。**

バケツにバケツ蓋を取り付けた状態で座らないこと
バケツ蓋の持ち手部がお尻に接触し、**けがの原因になります。**

落としたり強い衝撃を加えないこと
強い衝撃を加えたり、硬いものに当てたりすると**破損・凹みの原因になります。**

ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものを掛けないこと
ペーパーホルダーが外れる原因になります。

子供、幼児を遊ばせる、踏み台として使用する等、他の用途では使用しないこと



安全上のご注意 必ずお守りください

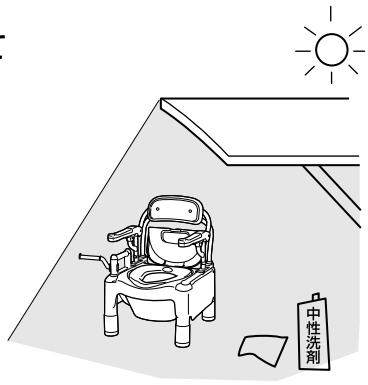
お手入れ上のご注意

必ず実行すること

正しくお手入れをしてください。

正しいお手入れの仕方

スポンジややわらかい布に住宅用洗剤（弱酸性・中性）をふくませて
ふきとってください。
便座は本体から外すことができます。



⚠ 警告

定期的にボルトがゆるんでないか各部にゆるみやガタツキなど、異常がないか点検すること
本体が不安定となり、**けがの原因になります。**

絶対にしないこと

⚠ 警告

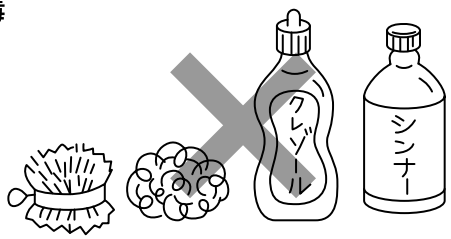
絶対に分解・修理・改造をしないこと
本体機能が正常にはたらかず、**けがの原因になります。**

⚠ 注意

次にあげるものではお手入れしないこと

- **塩素系洗剤**
- **酸、アルカリ性洗剤**
- **シンナー**
- **クレゾール**
- **熱湯（煮沸消毒等）**
- **タワシ**
- **研磨剤入りのスポンジ**
- **磨き粉**
- **塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒**
- **その他製品を傷付けるもの**

製品が劣化し、**けがの原因になります。**



直射日光による天日干しは行わないこと
製品が劣化し、**けがの原因になります。**

製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと
製品が変形し、**けがの原因になります。**

組み立てかた（共通）

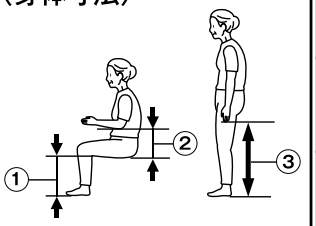
■各部の高さ設定の目安

・ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。
・便座、ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。

> ⚠注意 **工具を使って組み立て、調節をしないこと**
> 製品の破損の原因になります。

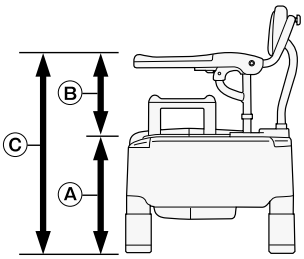
[体格による選定目安表]　排泄や移乗を行いやすいよう、利用する方の体格にあった設定をしてください。
また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。

（身体寸法）



①座面高（座位下腿高）（ざいかたいこう）	足の裏からひざ裏までの高さ
②座位肘頭高（ざいちゅうとうこう）	座面からひじまでの高さ
③指尖高（しせんこう）	床から指先までの距離

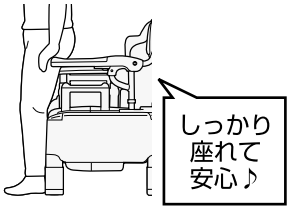
（製品）



Ⓐ便座高	●**通常**は、足を引くため ①座面高（座位下腿高） より2～3cm引きます。 ●**便座高高め**…リウマチや膝関節症等でひざを曲げにくい場合は、①座面高（座位下腿高）に4～6cmを足します。 ※個人差が大きいため、必ず本人の立ち上がりの様子を確認して高さを合わせて下さい。
Ⓑひじ掛け高さ	●**通常**は、②座位肘頭高 に1～2cm足します。 ●**ひじ掛けを支えにして立ち上がる場合**は、ひじ掛けを押して立ち上がりやすいよう ②座位肘頭高 より低く設定します。 ●**ひじ掛けをつかんで座る場合**は、「③指尖高 や **Ⓒ床からひじ掛け先端までの距離** 」を優先して設定して下さい。
Ⓒ床からひじ掛け先端までの高さ	●**ひじ掛けをつかんで座る場合**は ③指尖高 +2cm以上（指先が引っかかるよう）が目安です。

ひじ掛けをつかんで座る場合の設定目安

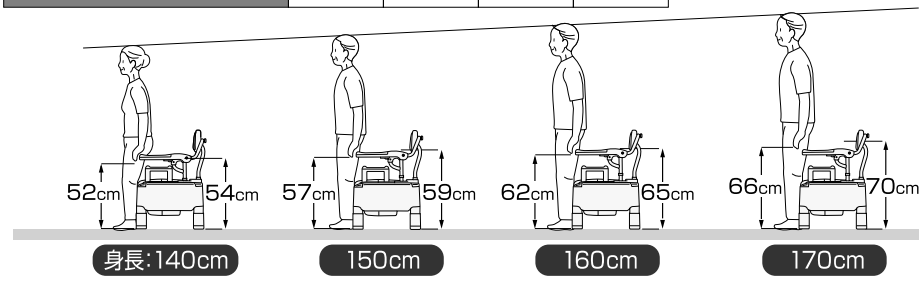
【メリット】
1.立った状態でひじ掛けを確認できるので、腕の力も使いながらゆっくり座ることができます。
2.ポータブルトイレに体を近づけて座ることができるため、介助バーを使用した着座より、浅座りになりにくいです。



＜目安＞ ※表の体格の数字はあくまで平均値であり個人差があります。最終的には本人の身体寸法を基準にしてください。

身　長	140cm	150cm	160cm	170cm
指尖高	52cm	57cm	62cm	66cm

床からひじ掛け先端までの高さ	54cm	59cm	65cm	70cm
便座高	33cm	35cm	38cm	40cm
ひじ掛け高さ	21cm	24cm	27cm	27cm

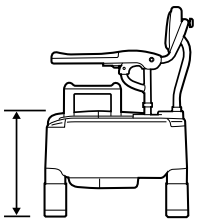


組み立てかた（共通）

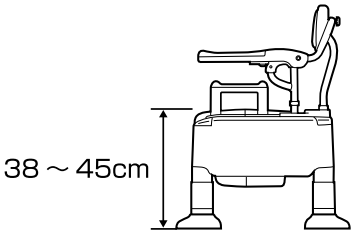
1 便座高さ（脚の高さ）を調節する

●便座の高さは、通常33～40cm、補高スペーサーを使用することで最大45cmまで調節することができます。調節の方法は以下の手順に従って行ってください。

補高スペーサーを使用しない場合



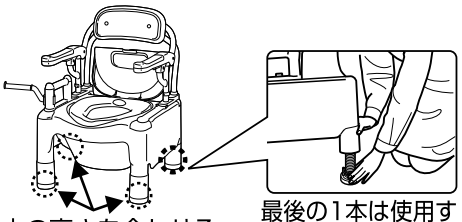
補高スペーサーを使用した場合



※補高スペーサーは、身体の安定を保てない方が使用される場合や、本体をしっかり安定させたい方にも便利です。

●高さは無段階で調節できます。
本体には0.5cmごとに目盛りがついていますので、脚の高さをそろえる目安にしてください。

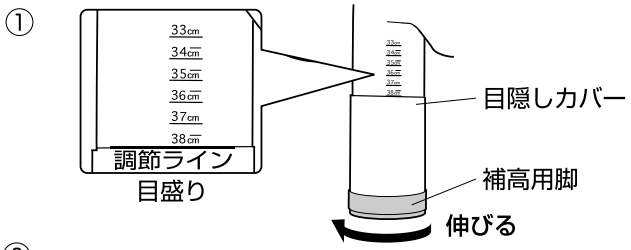
●まず３本の脚の高さを調節し、最後の１本はポータブルトイレを使用する場所で調節することによって、多少の凹凸のある床面でもガタつきなく使用できます。



●開梱時、補高用脚の固定ナットはゆるめた状態になっております。以下の手順で締めてください。

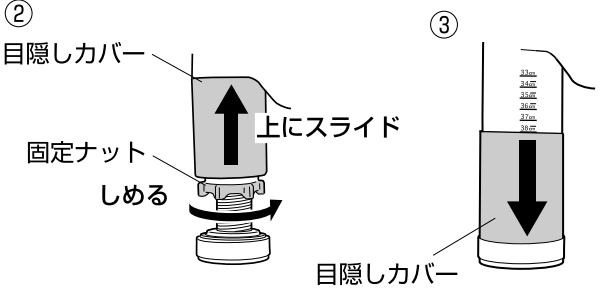
補高スペーサーを使用しない場合

①補高用脚を左に回し、目隠しカバーの上部と目盛りを合わせて、便座高さの調節をしてください。
左回転：伸びる



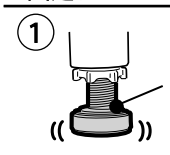
②目隠しカバーを上にスライドさせ、固定ナットを右に回してしっかり締めつけてください。最後に補高用脚が軽い力で動かないことを確認してください。
※補高用脚が軽い力で動く場合は、固定ナットをさらに右回転させ締めつけてください。

③目隠しカバーを下にスライドさせてください。

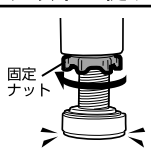


こんなときは 開梱時、固定ナットをさらに力強く左へ回してしまう（ゆるめる方向）と、どちらの方向にも回りづらくなります。この状態になってしまいましたら、固定ナットを力強く右回転させると直ります。

※固定ナットがどちらの方向にも回りづらく、回す方向がわからなくなった場合は、以下に従うと固定ナットが動きます。



補高用脚が回転する場合
固定ナットを力強く右回転すると、固定ナットが動きます。



補高用脚が回転しない場合
固定ナットを力強く左回転すると、固定ナットが動きます。

⚠警告 **補高用脚は便座面が水平になっている高さに固定され、固定ナットでしっかり締めつけられているか確認すること**
転倒し、**けがの原因になります。**

組み立てかた（共通）

注意

固定ナットは、必要以上に力強く締めつけないこと
固定ナットが破損し、補高用脚を固定できなくなる恐れがあります。

補高スペーサーを使用した場合

補高スペーサーの利点

補高スペーサーを取り付けることで本体の安定を高めることができ、より転倒しにくい工夫をしています。

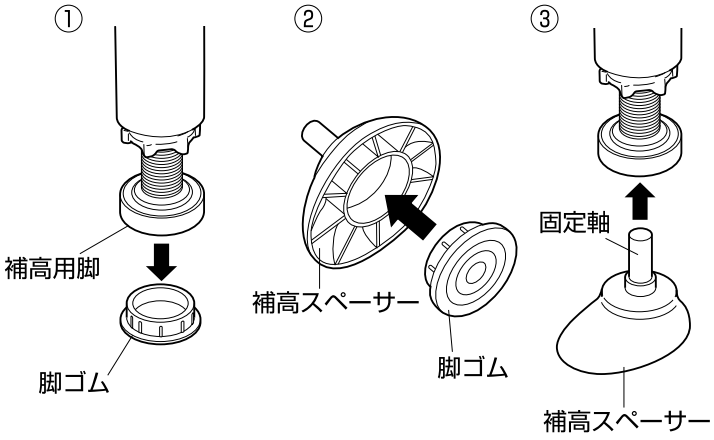
補高スペーサー（5cm）を使用して高さ調節を行う場合

補高スペーサーを使用しない場合 P.11 の①～⑤の高さ調節方法に従って、本体の補高用脚を設定します。高さ設定の目安は、設定したい高さから 5cm 引いた高さに補高用脚を設定します。

	補高用脚の高さ	補高スペーサーを取り付けた時の高さ
便座の高さ（目安）	33 →	38
	～	～
	40 →	45

補高スペーサーの取り付けかた

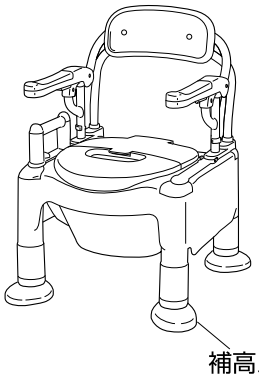
①補高用脚裏面の脚ゴムを取り外します。
②補高スペーサーの裏面に①で取り外した脚ゴムをはめ込みます。
③補高スペーサーの固定軸を補高用脚裏面の穴に奥まで差し込みます。



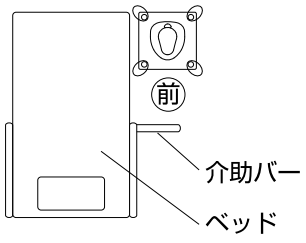
警告

脚ゴムは必ず取り付けて使用すること
体重をかけたときにポータブルトイレが動き転倒し、**けがの原因になります。**

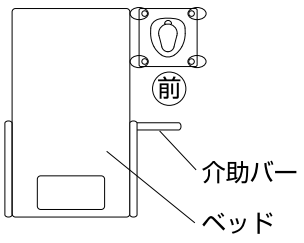
④補高スペーサーの向きを調節してください。



例）補高スペーサーを斜め45度の方向に取り付けた場合

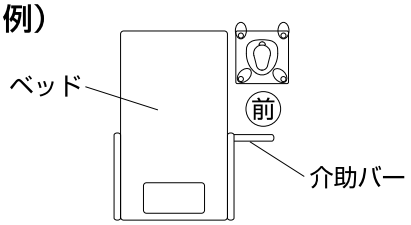


補高スペーサーを横に向けて取り付けた場合



※リウマチや膝関節症の方など、着座時の反動でトイレが後方へ傾く恐れのある場合は補高スペーサーを後ろ方向に向けて取り付けると安定します。

例）



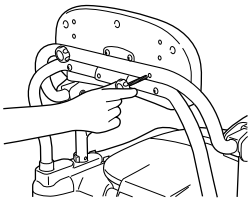
使いかた

2 ひじ掛けの高さを調節する

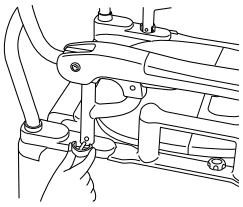
●ひじ掛けの高さは、3段階〈21・24・27cm〉に調節できます。
調節の方法は以下の手順に従って行ってください。

①背もたれ後ろのノブボルトとひじ掛け支柱の固定ピンを外します。

背もたれ後ろのノブボルトを外します。

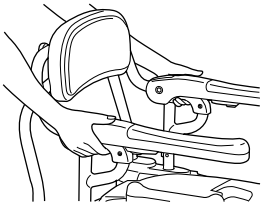


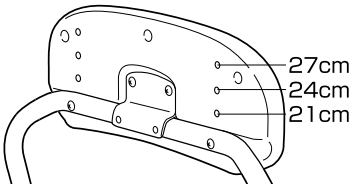
ひじ掛け支柱の固定ピンを外します。



②ひじ掛け全体を上下にスライドさせながら設定したい高さ（背もたれのボルト穴に合わせて）にひじ掛けを合わせます。

左右のひじ掛けを同時にスライドさせます。





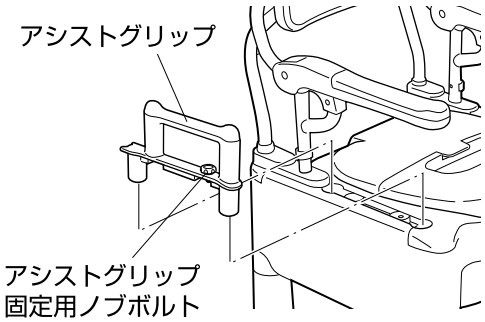
③背もたれにひじ掛けをノブボルトで固定し、背もたれ支柱に固定ピンを差し込みます。
④最後に、ひじ掛けがしっかりと固定されていることを確認して完了です。

> ⚠ 注意
> **ひじ掛けの高さを調節した後、しっかりと固定されているか確認すること**
> 転倒し、**けがの原因になります。**

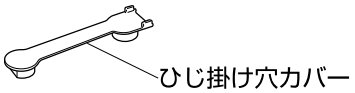
3 アシストグリップを固定する

ベッドと反対側にノブボルトで取り付けます。

> ⚠ 警告
> **アシストグリップは、アシストグリップ固定用ノブボルトで必ず固定すること**
> アシストグリップが外れ、不安定になり、**けがの原因になります。**



ひじ掛け穴カバー
アシストグリップが固定されていない側の穴は、ひじ掛け穴カバーを取り付けてください。
※トランスファータイプの場合、トランスファーボードを取り付けてお使いください。

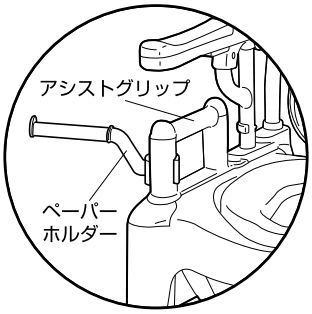


4 ペーパーホルダーを取り付ける

ペーパーホルダーはアシストグリップの支柱にお好みの角度で取り付けることができます。
使いやすい位置に取り付けて、トイレットペーパーをセットしてください。

> ⚠ 警告
> **ペーパーホルダーを手すりがわりにしないこと**
> **転倒やけがの原因になります。**

> ⚠ 注意
> **ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものを掛けないこと**
> ペーパーホルダーが外れる原因になります。

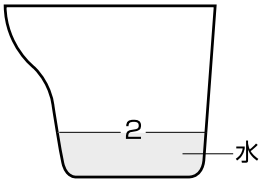


使いかた

1 ご使用の前に

●本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

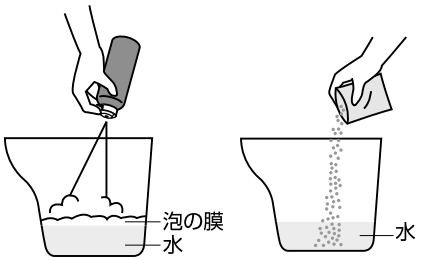
① **バケツに水を入れる**
バケツに約2リットルの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。
※バケツに水が入っていない場合、防臭効果が減少します。



② **バケツを本体にセットし、バケツの蓋を外してご使用ください。**
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものは入れないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。

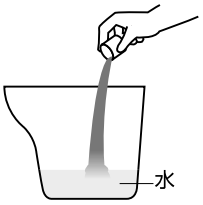
※付属の防臭アイテムのほかにも、さまざまな防臭アイテムをご使用いただけます。（別売品）

●消臭剤フォームタイプ　●ポータブルトイレ用防臭剤22　●ポータブルトイレ防臭液　●ポータブルトイレ・尿器用防臭錠　●消臭シート



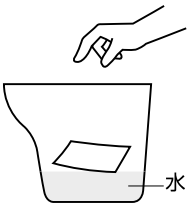
水の表面を泡が覆い、防臭効果を長時間持続します。

取り扱いやすい粉末状タイプです。



水に溶けやすい液状タイプです。

1錠入れるだけの錠剤タイプです。



水に入れるとサッと溶けるシート状タイプです。

脱臭タイプ（快適脱臭）の場合

快適脱臭の場合は、付属の消臭剤フォームタイプを併用することにより、自動停止後も長時間防臭効果が持続します。
必ず無香料の防臭アイテムをご使用ください。

注意

快適脱臭をご使用の場合、無香料の防臭アイテムを使用すること
脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

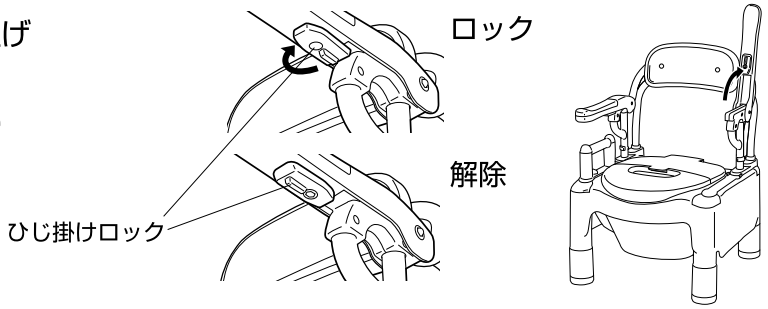
2 汚物の処理方法

使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取りだして、
汚物をトイレに流してください。
※当社防臭アイテムは、トイレへ一緒に流すことができます。

使いかた

3 ひじ掛けをはね上げて使用する

ひじ掛けロックを解除して、ひじ掛けを上げ下げして使用してください。
梱包時はロックされてひじ掛けが動かない状態になっています。



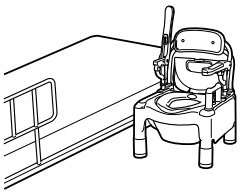
注意

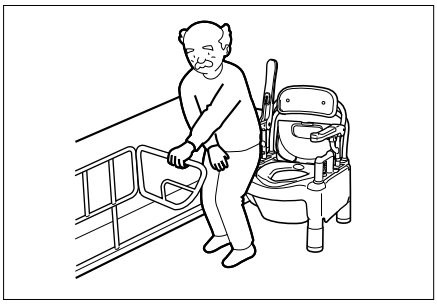
ひじ掛けをはね上げて使用しない場合は、ひじ掛けのロックで必ずひじ掛けを固定すること
ひじ掛けが動いて指をはさんだり、ひじ掛けが破損し、**けがの原因になります。**

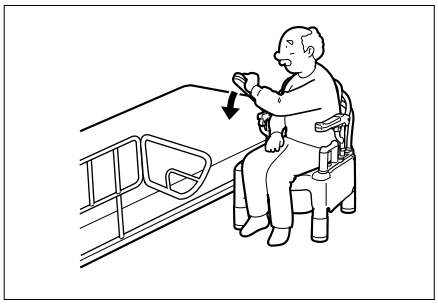
こんな使い方ができます

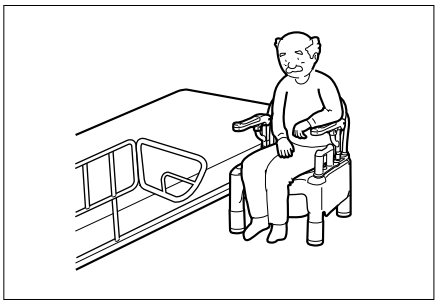
●立ち上がって移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態でベッドの介助バーを持ちながら立ち上がって移乗し、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。
※片麻痺の方でも健側の手で患側のひじ掛けを下ろすことができます。
※移乗側のひじ掛け下の本体の穴はひじ掛け穴カバーまたはトランスファーボード（トランスファータイプのみ）を取り付けてください。



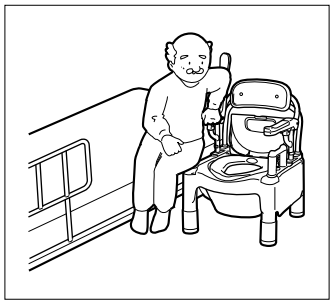


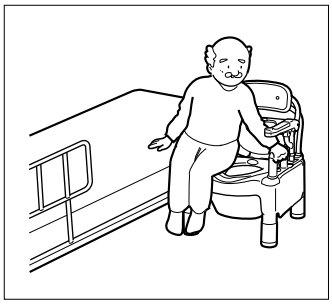


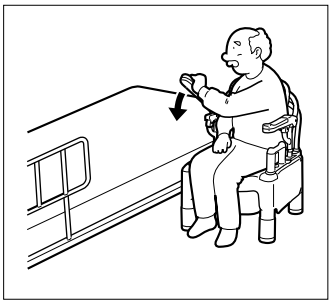


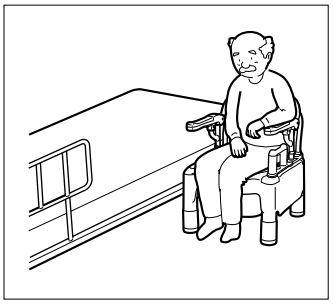
●立ち上がれないが座位移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で短ひじ掛けを持って身体を引き寄せながらトイレに移乗し、さらにアシストグリップをつかんで身体を便座の中央まで引き寄せ、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。
※片麻痺の方でも健側の手で患側のひじ掛けを下ろすことができます。









使いかた

また、移乗時にアシストグリップを使うと、腕に力が入りやすく、スムーズに移乗しやすくなります。

ひじ掛けの上をつかむと

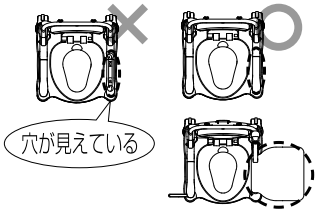
ひじ掛けの上をつかむと、ワキが開いて力が入りにくい。

アシストグリップをつかむと

ワキが閉まり、力が入りやすく、重心移動がスムーズになります。

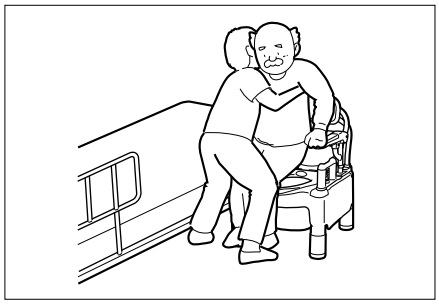
注意

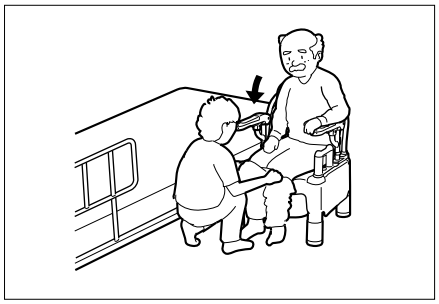
片側のひじ掛けを外して使用する場合は、ひじ掛けを差し込んでいた部分の穴が見えている状態で使用しないこと
お尻や手指が入り込み、**けがの原因になります。**
本体のひじ掛け差込部にひじ掛け穴カバーまたはトランスファーボード（トランスファータイプのみ）を取り付けてください。



●介助される方が補助して移乗させる場合

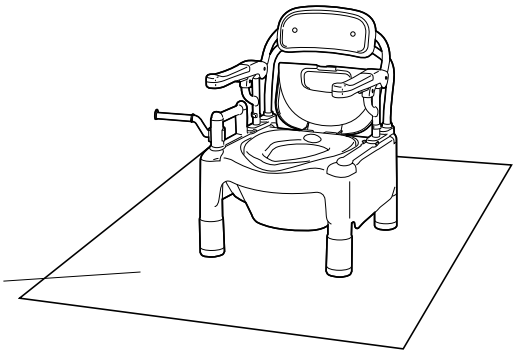
ひじ掛けをはね上げた状態で身体を支えてトイレに移乗させ、ひじ掛けを下ろして使用できます。





より快適にご使用いただくために

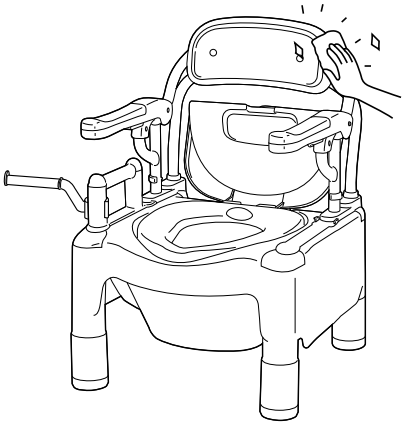
便座に座る前に用便されてしまう場合もあります。
「両面すべり止め付き消臭・防水マット」（別売品）
「ポータブルトイレ用消臭・防水シート」（別売品）
を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。



お手入れの方法

1 いつものお手入れ

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。



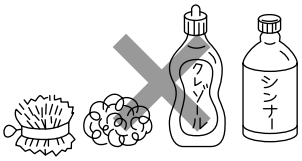
⚠ 注意

●次にあげるものではお手入れしないこと

- 塩素系洗剤
- 酸、アルカリ性洗剤
- シンナー
- クレゾール
- 熱湯（煮沸消毒等）
- タワシ
- 研磨剤入りのスポンジ
- 磨き粉
- 塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- その他製品を傷付けるもの

製品が劣化し、**けがの原因になります。**

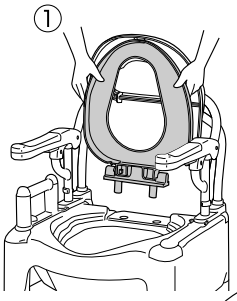
●直射日光による天日干しは行わないこと



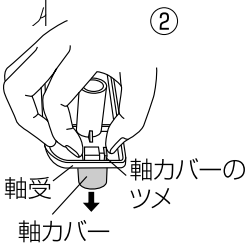
2 便座・上蓋のお手入れ

便座・上蓋は、本体から取り外し、水洗いすることができます。

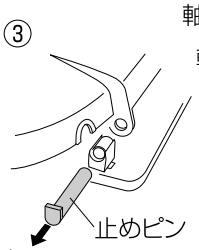
①便座・上蓋を本体から外してください。



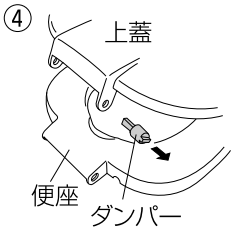
②軸受裏の軸カバーのツメをつまみながら、軸カバーをはずしてください。



③止めピンを抜き、上蓋・便座を軸受からはずしてください。



④最後に上蓋の軸穴からダンパーを抜き、上蓋と便座を分解してください。

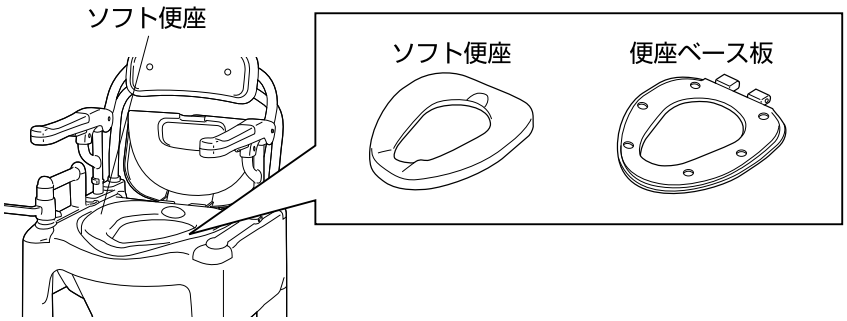


※組み立てる場合は、④から逆の手順で行ってください。

ソフト便座

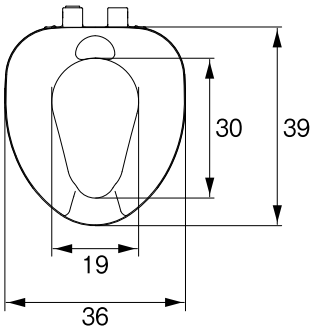
ソフト便座タイプをお買い上げのお客様はご確認ください。

各部のなまえ



便座寸法図

単位：cm



■仕様

品　　名	FXソフト便座
材　　質	ソフト便座：EVA樹脂（抗菌加工） 便座ベース板：ポリプロピレン
重　　量	約0.4kg

お手入れの方法

●お手入れの方法はP.17を参照してください。

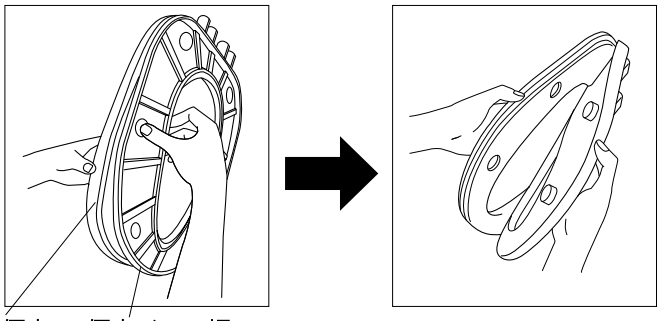
ソフト便座を取り外す方法

ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。
裏面の凸部を押して取り外してください。

注意

ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理に引っぱらないこと

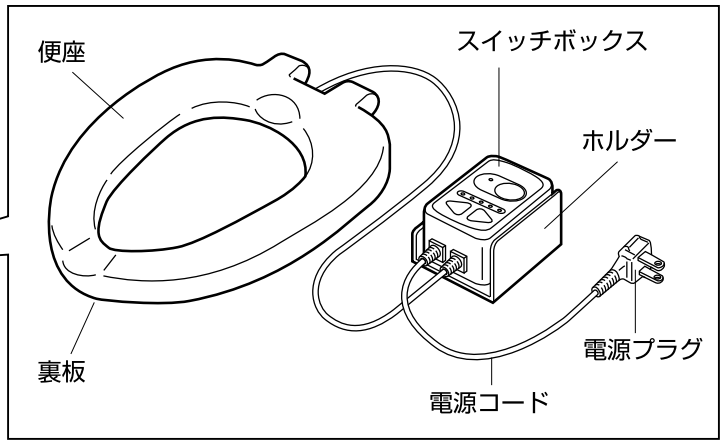
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。



暖房便座

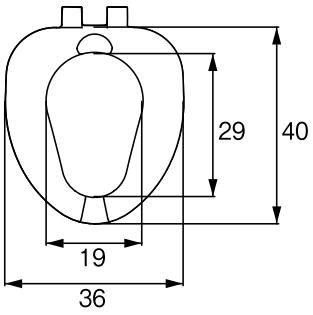
暖房便座をお買い上げのお客様はご確認ください。

各部のなまえ



便座寸法図

単位：cm



電気代について

●標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。
1日24時間通電した場合、1日当り約10円。
1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kWh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

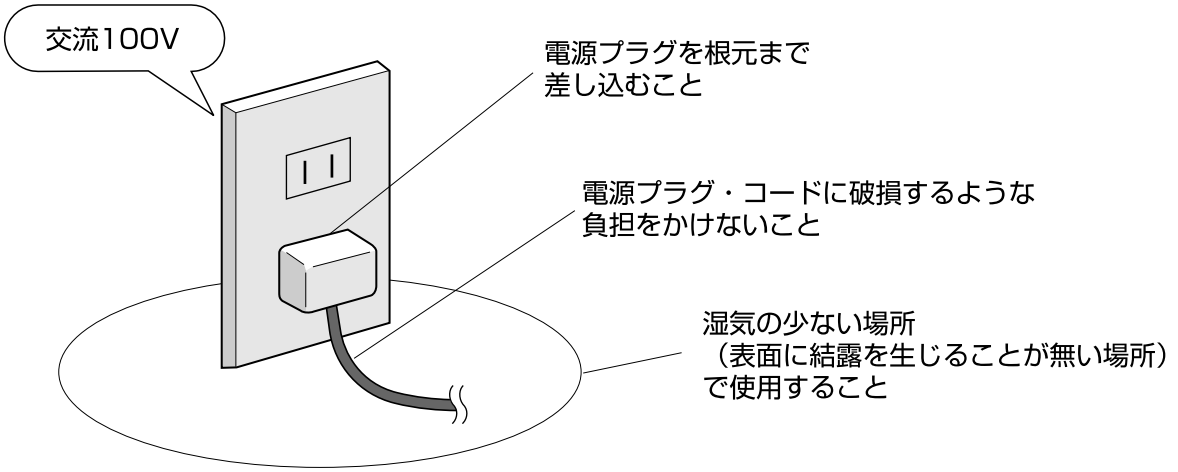
室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

■仕様

品　　名	FX暖房便座
材　　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
定　　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発 熱 体	チュービングヒーター
コ ー ド	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　　量	約1.0kg

安全上のご注意（暖房便座）

使用上のご注意（暖房便座仕様のみ）

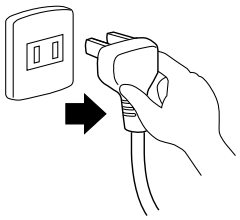


⚠ 警告

電源プラグのほこり等は定期的に取り除くこと
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

必ず実行すること

長期間使用しないときやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと
コンセントから抜くときは、手が濡れていないことを確認し、
コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。



焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏表紙のお客様相談室に
ご連絡ください。

製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

お年より・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するときは、
周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になるときは、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

⚠ 注意

長期間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

安全上のご注意（暖房便座）

使用上のご注意（暖房便座仕様のみ）

絶対にしないこと

⚠ 警告

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。

電源プラグ・コードを破損するようなことをしないこと
また、電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと
下記のことを行うと、電源プラグやコードが傷つきます。
・重いものを載せる　・ドアのすき間などに挟む
・加工する　・折り曲げる
・熱器具に近づける　・引っ張ってポータブルトイレを移動させるなど、コードを無理に引っ張る
電源プラグやコードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

暖房便座・スイッチボックス・電源プラグに小便や水をかけないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

湿度の高い場所で使用しないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと
スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・上蓋を取り外さないこと
故障・破損の原因になります。
故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

⚠ 注意

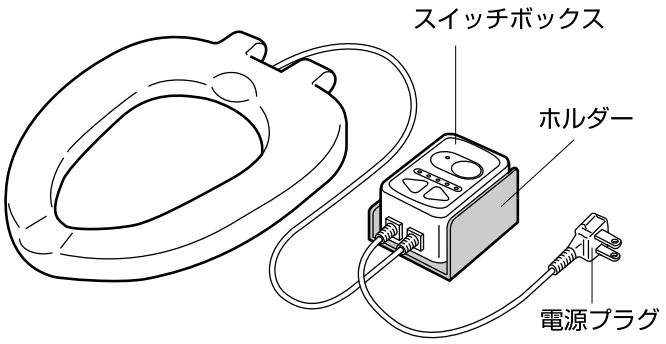
便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

便座カバーはつけずに使用すること
暖房便座は便座カバーが取り付けられる構造となっておりません。

組み立てかた・使いかた

1 暖房便座のスイッチボックスを本体に固定する

●スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右のどちらにでも固定できます。



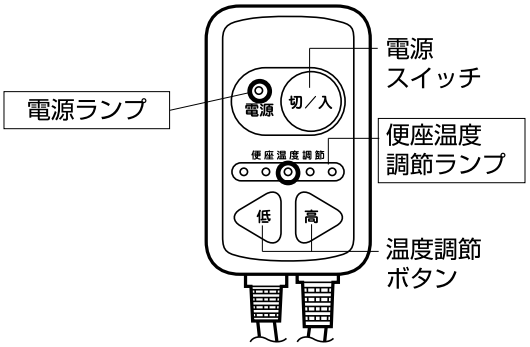
①ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
②ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
この際、本体のポケットなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
③スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

組み立てかた・使いかた

2 温度調節の方法

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り 電源ランプ と 便座温度調節ランプの中央ランプ が点灯します。

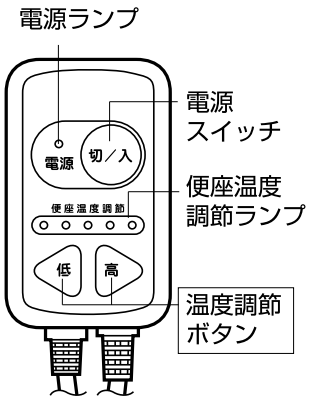
〈スイッチボックス〉



②(高)(低)ボタンを押すとランプ表示が切換わり、便座表面の温度調節ができます。

③お好みの温度に調節してください。

※最低約30℃～最高約40℃（室温5℃のとき）の範囲で5段階に調節できます。



警告

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

警告

●スイッチボックスを必要以上に引っ張らないこと

●スイッチボックスをホルダーに固定したまま便座・上蓋を取り外さないこと

故障・破損の原因になります。

故障・破損したまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

お手入れの方法

●お手入れの方法はP.17を参照してください。

警告

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと

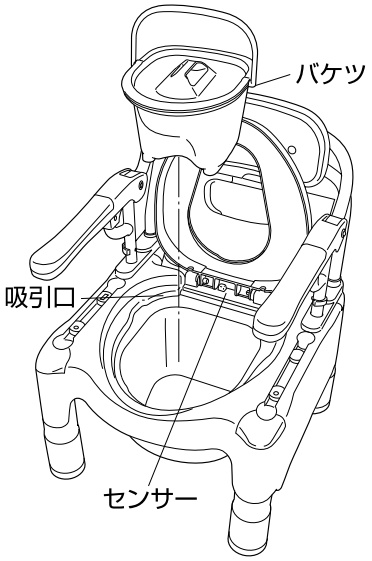
●便座・スイッチボックスには水をかけないこと

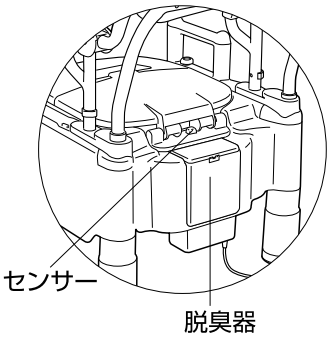
感電、ショート、火災の原因になります。

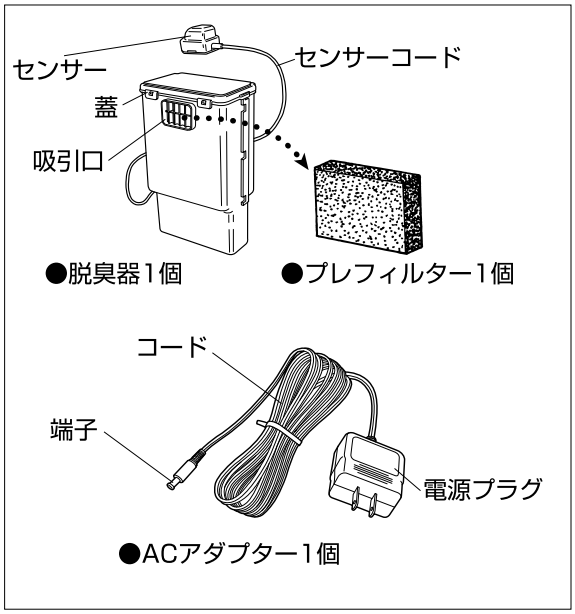
快適脱臭

快適脱臭仕様をお買い上げのお客様はご確認ください。

各部のなまえ

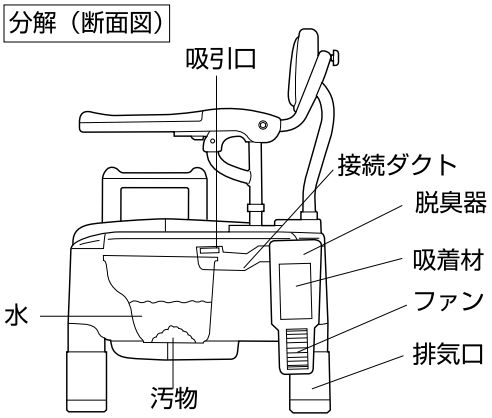






※接続ダクトは本体に組み付けられています。

分解（断面図）

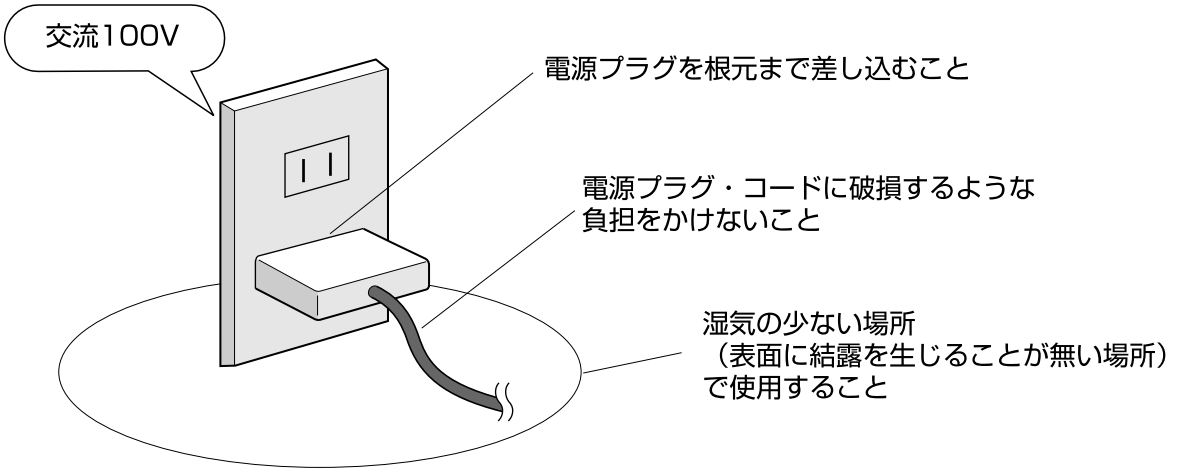


■仕様

品名	快適脱臭	
材質	脱臭器	ポリプロピレン
	接続ダクト	ポリエチレン
	プレフィルター	ポリウレタン
	吸着材	触媒配合ハニカム活性炭
サイズ	脱臭器：幅13.5×奥行9.5×高さ22cm	
電源	交流100V（50/60Hz共用） 直流12V（ACアダプター使用）	
消費電力	約5W	
脱臭方法	吸着脱臭方式	
吸着材寿命	約7年（1日1時間使用した場合）	
動作	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止	
コード長	約1.9m	
重量	約0.7kg	

安全上のご注意（快適脱臭）

使用上のご注意（快適脱臭仕様のみ）



⚠ 警告

電源プラグのほこり等は定期的に取り除くこと
電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

長期間使用しないときやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと
コンセントから抜くときは、手が濡れていないことを確認し、コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜くこと
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または裏表紙のお客様相談室にご連絡ください。

製品を移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめてから移動すること
コードの破損、感電、ショート、火災の原因になります。

⚠ 注意

長期間使用していない場合は、使用前に必ず作動確認を行うこと

快適脱臭をご使用の場合、無香料の防臭アイテムを使用すること
脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

接続ダクトは本体・脱臭器としっかり接続してあることを確認すること
吸引口に異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

❗ 必ず実行すること

安全上のご注意（快適脱臭）

使用上のご注意（快適脱臭仕様のみ）

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

絶対にしないこと

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。

電源プラグ・コードを破損するようなことをしないこと
また、電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるんだ状態で使用しないこと
下記のことを行うと、電源プラグやコードが傷つきます。
・重いものを載せる　・ドアのすき間などに挟む
・加工する　・折り曲げる
・熱器具に近づける　・引っ張ってポータブルトイレを移動させるなど、コードを無理に引っ張る
電源プラグやコードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。

脱臭器・センサー・電源プラグに小便や水をかけないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

湿度の高い場所で使用しないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

脱臭器の排気口に物や手を入れないこと
回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。また、ファンの故障の原因になります。

専用のACアダプター以外は使用しないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

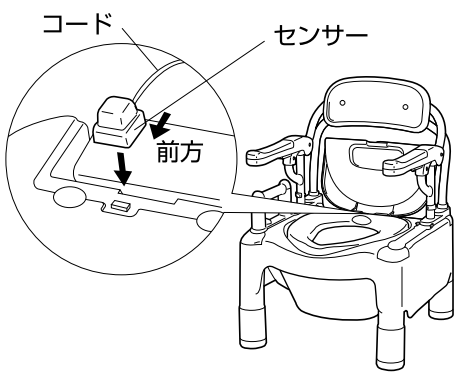
⚠ 注意

センサーやセンサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、脱臭器の蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

組み立てかた・使いかた

1 脱臭器を取り付ける

●脱臭器はポータブルトイレ本体の後方（便座・上蓋の後方）に収納されています。
①センサーが、便座・上蓋軸受下に取り付けられていることを確認してください。外れている場合は、図の向きを参考に、マジックテープで固定されるように取り付けてください。

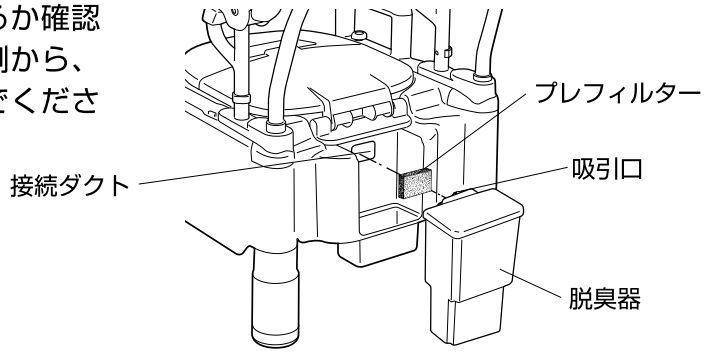


組み立てかた・使いかた

注意

センサーやセンサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、脱臭器の蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

②接続ダクトと脱臭器がしっかり接続されているか確認してください。外れている場合は、本体の裏側から、脱臭器の吸引口をダクトに合わせて押し込んでください。

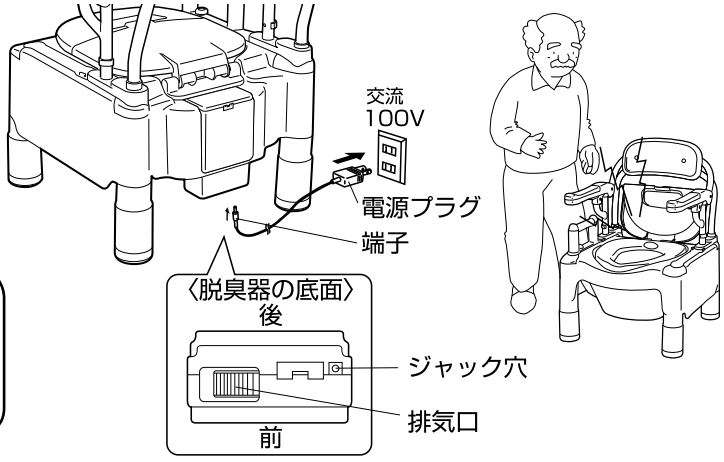


注意

●接続ダクトは本体・脱臭器としっかり接続してあることを確認すること
●吸引口に異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

③ACアダプターの端子を脱臭器の底面にあるジャック穴に差し込み、ACアダプターの電源プラグを、家庭用（交流100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると、脱臭器が運転を開始します。

※脱臭器の中には、触媒配合ハニカム活性炭の吸着材が入っており、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命は、1日1時間の使用で約7年です。

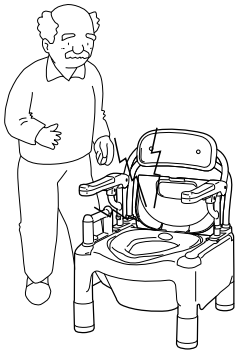


警告

脱臭器の排気口に物や手を入れないこと
回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。
また、ファンの故障の原因になります。

2 センサーの感知

センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。このようなときは、お体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。



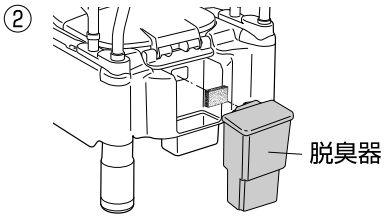
お手入れの方法

脱臭器のお手入れ

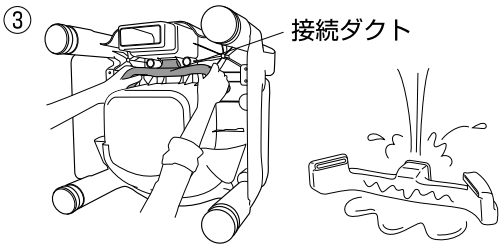
取り外し方

①ACアダプターを取り外し、
上蓋・便座を本体から取り外します。
次にセンサーをポータブルトイレ本体から外してください。
（センサーのシールをはがさないように注意してください。センサーが後方で感知しないようにシールを貼付しています。）

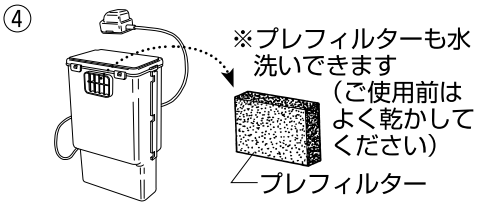
②脱臭器をポータブルトイレ本体から取り外してください。



③接続ダクトは汚れやほこりがたまりやすいので時々ブラシ等で、ほこりを取り除いてください。
また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。



④プレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に１度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。
水洗いもできますので、その場合はよく乾かしてください。



警告

●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
●脱臭器は水をかけないこと
感電、ショート、火災の原因になります。

注意

センサーやセンサーコードを引っ張ったり折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。脱臭器を持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、脱臭器の蓋だけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

取り付け方

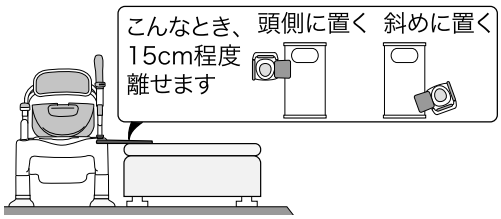
①接続ダクトを本体に取り付けます。

②脱臭器の取り付けは、P.25～26「脱臭器を取り付ける」の項目を参照してください。

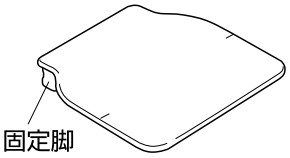
トランスファーボード

トランスファータイプをお買い上げのお客様はご確認ください。

●トランスファーボードは、ベッドとポータブルトイレのすき間を埋める移乗用ボードです。
●以下の場合での使用に適しています。
・立ち上がっての移乗に不安を感じ、座ったままで移乗したい場合。
・ベッドの頭側にポータブルトイレを設置する場合。
（例：介助バーがない、短時間で移乗したい、一部の半身マヒの方）
・ベッドとポータブルトイレのすき間が大きい場合。



各部のなまえ

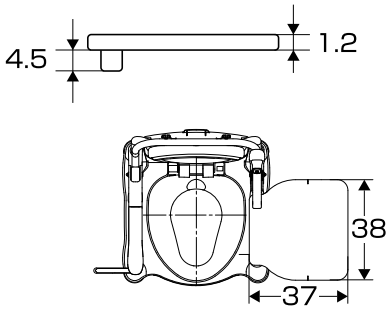


●トランスファーボード1個

■仕様

品　　名	トランスファーボード
材　　質	ポリエチレン
サ　イ　ズ	幅38×奥行37×厚み1.2cm（ボード部）
重　　量	約0.7kg

■商品寸法図（単位：cm）



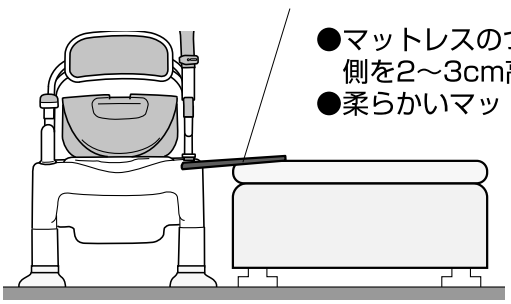
安全上のご注意

使用前のご注意（トランスファータイプのみ）

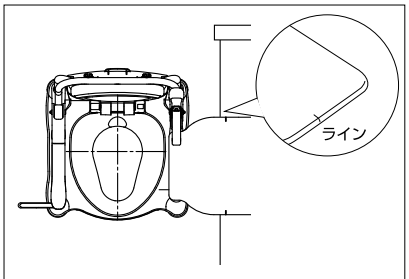
必ず実行すること

正常な状態

移乗時に水平になるようにセットすること



●マットレスのつぶれる分量を見越し、ベッド側を2～3cm高くセットしてください。
●柔らかいマットレスはつぶれて沈み込むため、固めのマットレスを推奨します。



トランスファーボードのラインがマットレスを越えていること

絶対にしないこと

⚠ 警告

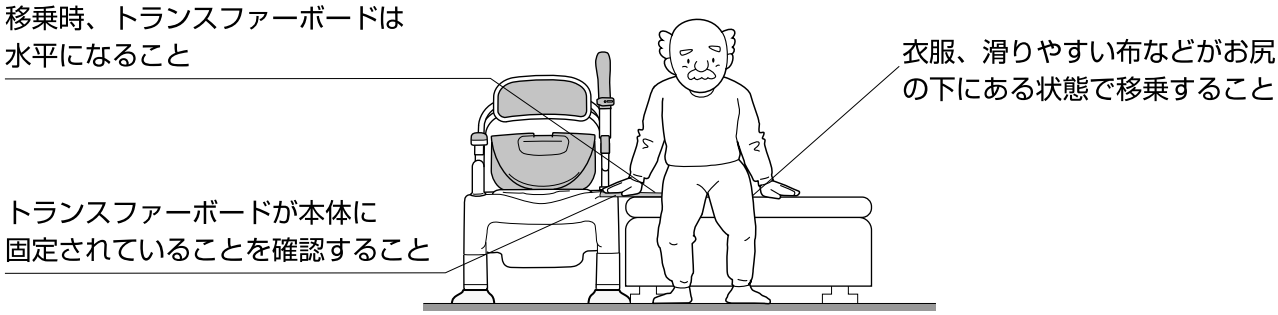
トランスファーボード天面のラインがベッドのマットレスを越えていない状態で使用しないこと
ラインがベッドのマットレスを越えていないと、トランスファーボードが外れ、転倒し、**けがの原因になります。**

安全上のご注意

使用中のご注意（トランスファータイプのみ）

❗必ず実行すること

正常な状態



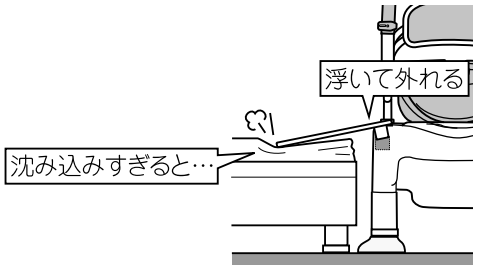
使用者体重は100kg以下です。
使用者が自分自身の体を十分に安定させられないときは、介助者が付き添ってください。

⃠絶対にしないこと

⚠ 警告

体重が100kgを超える方は使用しないこと
製品が破損し、**けがの原因になります。**

柔らかすぎるマットレスを使用しないこと
マットは固めのものを使用してください。
マットレスがやわらかすぎると、移乗時にマットレスが沈む量が多すぎてトランスファーボードが外れやすくなり、**転倒の原因になります。**



トランスファーボードがポータブルトイレ本体から外れている状態で使用しないこと
トランスファーボードが外れていると、転倒し、**けがの原因になります。**

トランスファーボードはベッドからの移乗以外（車イスからの移乗など）に使用しないこと
トランスファーボードが外れ、転倒し、**けがの原因になります。**

トランスファーボードの上に立たないこと
転倒し、**けがの原因になります。**

トランスファーボードを使用する場合、ベッドのギャッチアップ機能は使用しないこと
破損や転倒の原因になります。

トランスファーボードは本製品以外に使用しないこと

直接皮膚が触れた状態でトランスファーボードの上を移乗しないこと
トランスファーボードは素肌では摩擦が大きくなり、滑りにくくなるため、必ず衣類や滑りやすい布などを敷いて、移乗してください。

移乗時に、トランスファーボードの下に手指を入れないこと
手指が挟まり、**けがの原因になります。**

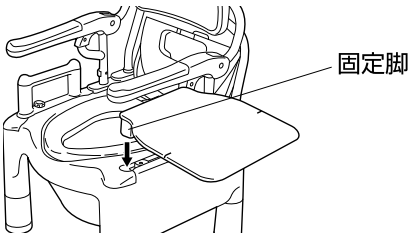
組み立てかた

①使用される方の体格・症状・部屋の状況に合わせて、ポータブルトイレをベッドサイドに設置します。

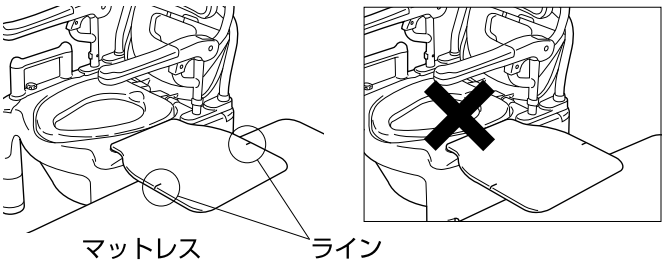
②移乗したい側（ベッド側）にトランスファーボードの固定脚をポータブルトイレ本体の穴に差し込みセットします。

③トランスファーボード天面のラインがベッドのマットレスを越えるまでベッドに近づけます。

②



③

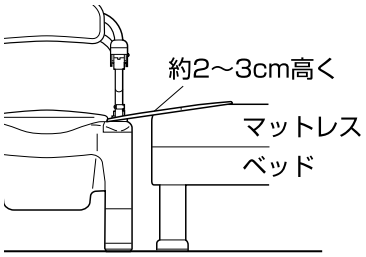


警告

トランスファーボード天面のラインがベッドのマットレスを越えていない状態で使用しないこと
ラインがベッドのマットレスを越えていないと、トランスファーボードが外れ、転倒し、**けがの原因になります。**

④最後にトランスファーボードに乗った時、マットレスのつぶれる分量を見越し、ベッドの高さを少し高く設定します。（約2～3cm程度）。
※高さ調節できないベッドは、ポータブルトイレ本体の高さを調節してください。

④



使いかた

①ベッドの端に座り、トランスファーボードをトイレにセットします。

②お尻をトランスファーボードにのせ、アシストグリップを握って身体を引き寄せます。

③完全にお尻を便座に乗せ、安定した排泄姿勢がとれるように身体を整えます。

※衣服を脱ぐタイミング

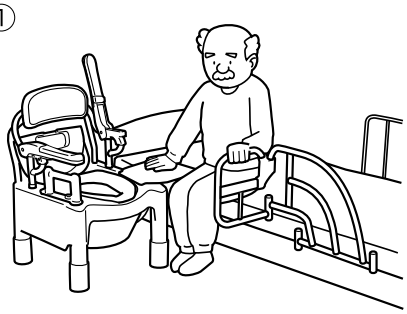
自立移乗の場合…ポータブルトイレに移乗してから衣服を脱いでください。

介助移乗で移乗前に衣服を脱ぐ場合…すべりやすい布や移乗シート（ナイロン、ポリエステル製の内面のすべる布タイプ）をおしりの下に敷いて移乗し、移乗後に少しずつ引き抜いてください。

警告

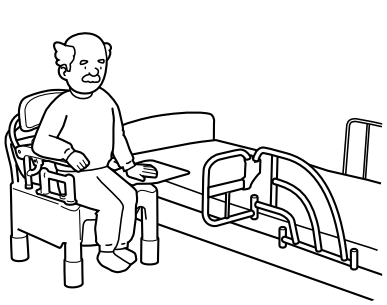
移乗時に、トランスファーボードの下に手指を入れないこと
手指が挟まり、**けがの原因になります。**

①



②

③

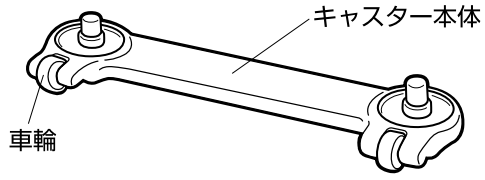


キャスター

キャスター付をお買い上げのお客様はご確認ください。

※便座高さ調節の注意事項
ポータブルトイレ本体にキャスターを取り付けて使用する場合、便座の高さ調節範囲は35～42cmになります。
（後ろ側の補高用脚に補高スペーサーを取り付けている場合はキャスターを取り付けることができません。）

各部のなまえ



●キャスター1個

■仕様

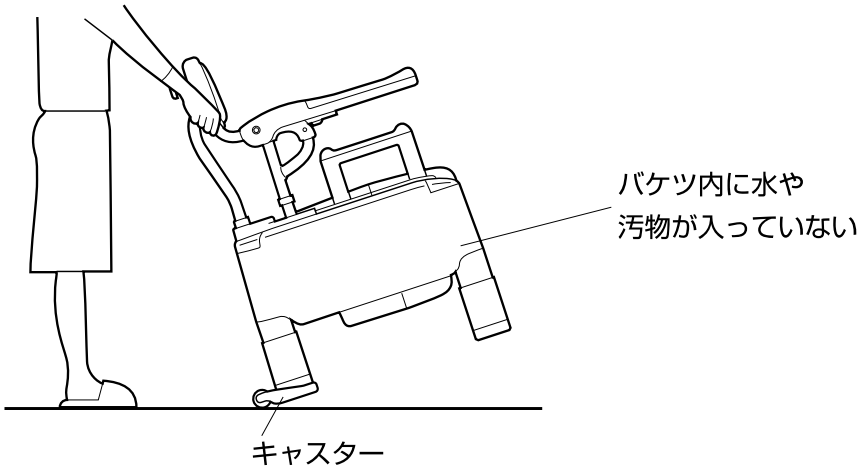
品　　名	キャスター
材　　質	キャスター本体：ポリエチレン 車輪：ナイロン （車輪軸）：ステンレス
サ　イ　ズ	幅57×奥行15×高さ7cm
重　　量	約0.5kg

安全上のご注意

使用上のご注意（キャスター付のみ）

必ず実行すること

正常な状態



絶対にしないこと

⚠ 警告

本体を移動させる時は、物をのせたまま移動させないこと

・人や物を座らせたまま移動させる
・バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる
等、物をのせたまま移動させると、**けが、故障、服や床を汚す原因になります。**

⚠ 注意

無理な段差や凹凸面ではキャスター移動を行わないこと

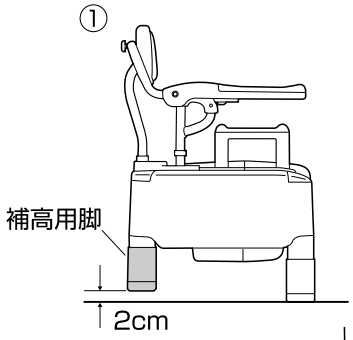
製品が**破損する原因になります。**

組み立てかた・使いかた

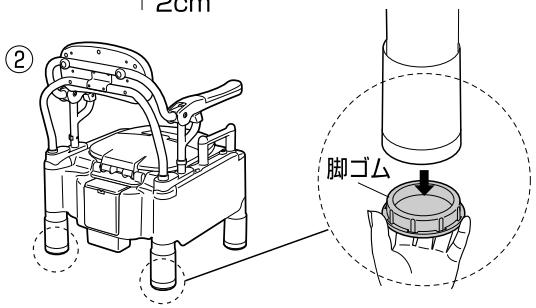
1 キャスターを取り付ける

●キャスターを取り付ける前に、まず使用される方の体格・症状に合わせて、便座の高さを調節してください。便座の高さ調節方法は、P.11・12の「便座高さ（脚の高さ）を調節する」を参照してください。

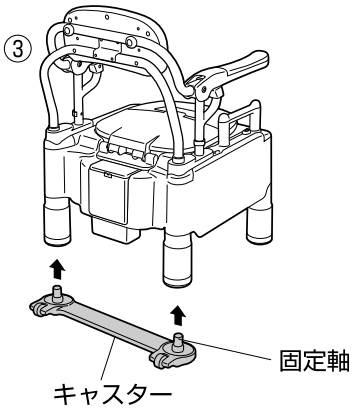
①キャスターを取り付ける後ろ側の補高用脚の高さ設定を2cm低くします。
（キャスターの厚み2cmを調節し、便座面を水平に保つため）



②補高用脚の脚ゴムを取り外します。



③キャスターの車輪がポータブルトイレ本体の後方を向くようにしながら、キャスターの固定軸を補高用脚の穴に奥まで差し込みます。



2 移動のしかた

本体前脚が床から浮いた状態にしてゆっくりと移動させます。

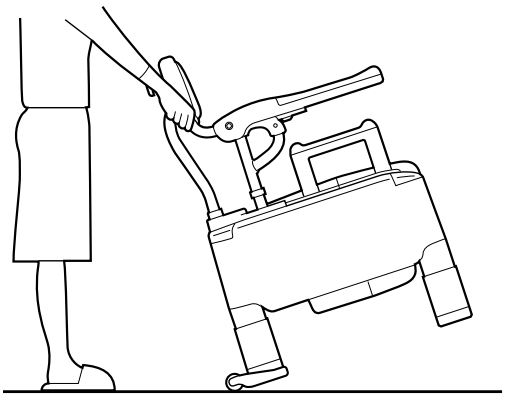
⚠警告

本体を移動させる時は、物をのせたまま移動させないこと
- 人や物を座らせたまま移動させる
- バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる

等、物をのせたまま移動させると、**けが、故障、服や床を汚す原因になります。**

⚠注意

無理な段差や凹凸面ではキャスター移動を行わないこと
製品が**破損する原因になります。**



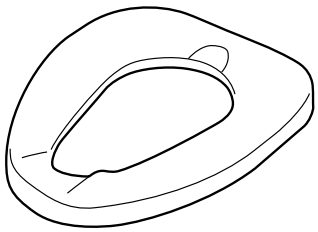
交換部品（消耗品）

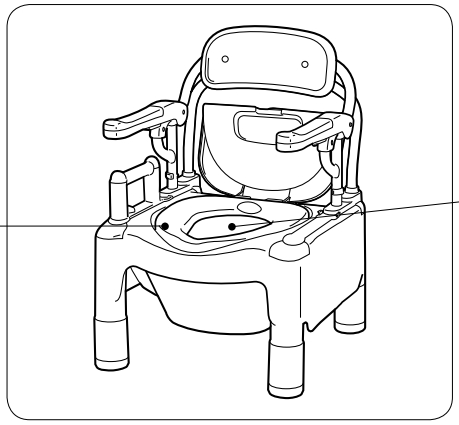
●製品が破損した場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせの上、部品を購入し、交換してください。

ソフト便座は消耗品ですので、汚れたり、破損した場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせの上ご購入し、交換してください。

消耗品

ソフト便座





バケツ一式

交換方法

P.18 ソフト便座を取り外す方法を参照してください。

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

快適脱臭

こんなとき	調べるところ・原因	処　置
においが取れない	プレフィルターにほこりがつまっていませんか	プレフィルターの掃除をする → P.27
	接続ダクトの吸引口、脱臭器排気口をふさいでいる物はありませんか	ふさいでいるものを取り除く
	接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されていますか	正しく接続する → P.26
センサーに手をかざしても作動しない	センサーが汚れていませんか	センサーを掃除する
	ACアダプターは確実に差し込まれていますか	ACアダプターを差し込みなおす → P.26

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちに電源プラグを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

暖房便座

こんなとき	調べるところ・原因	処　置
電源スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか	電源プラグを差し込みなおす
便座があたたかくない	電源が「切」になっていませんか	電源を「入」にする
	設定温度が低くなっていませんか	設定温度を高くする　→P.22
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか	設定温度を低くする　→P.22
電源ランプが点滅し、便座があたたかくない	異常を感知し、自動回路遮断が作動しています。	お買い上げの販売店にご相談ください。

※上記の問題が直らなかった場合は、ただちに電源プラグを抜いて、まずお買い上げの販売店にご相談ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 12.10

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階 TEL(03)3502-1448
FAX(03)3502-1452

東京支店 ☎(03)3502-1422
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5475
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910805-2